

---

# 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの 事業報告

---

令和5年度は、令和元年度から令和5年度までの「第3次中期計画」の最終年度となります。

この第3次中期計画に基づいて事業を展開し、高齢者の能力と希望に応じた、臨時的・短期的な就業を組織的に提供し、生きがいの充実、健康維持、社会参加の場として当センターの事業運営に努めてまいりましたが、この中期計画の期間中、令和2年1月からの新型コロナウイルス感染症拡大以来、令和4年3月のまん延防止等重点措置の終了までの間、度重なる各種制限化の中で新型コロナウイルスとの共存をしつつ事業に取り組んでまいりました。

当センターの事業運営におきましても、一度、大きく減少した契約金額も、少しずつではありますが、新型コロナウイルス感染症のまん延前の状態に戻ったところですが、これは、公共の委託単価の改正が令和4年度以降、毎年行われたことと、新型コロナウイルス感染症の対応策として設けられていた施設管理などの就業の制限等が緩和されてきたこと、感染症のまん延により発注を敬遠されていた業務が戻ってきたことによるものが大きな要因となっています。

また、令和5年10月からのインボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施に伴い、会員の配分金に含まれるインボイス相当分の対応について、市との協議を進めてきた結果として、市の補正予算での対応により事務費にインボイス負担額相当分を組み込まれた単価の改訂がおこなわれたことにより、会員への影響が発生しないことで対応することができました。

このような状況の下、今まで体験してきた社会状況等の変化に対応してきたことを活かしながら会員数の増強、就業機会の拡大・確保をしつつ、公共・民間事業を問わず、取り組んでいくことのほか、植木・除草作業就業会員などの技術を必要とする後継者の育成、会員数の増強・拡大と市報配布会員の慢性的欠員の補充と確保についても、緊急の課題としてとらえ、次期中期計画の第4次中期計画の中でも、引き続き取り組んでいくこととしています。

第3次中期計画では、今年度、「会員数の増強」「就業機会の拡大」「安全就業の徹底」の3施策を重点事業として取り組んできましたが、令和4年3月のまん延防止等重点措置の終了までの間、様々な制限等により影響がありました、中期計画数値目標は未達成となっておりましたが、新型コロナウイルス感染症が蔓延する前の状態に戻る兆しが見え、新規入会者の数、女性会員比率の向上、シルバー派遣事業の契約数等については、成果が上がってきている状況です。

その結果、センター事業の契約金額につきましては、前年度同時期の契約金額実績と比較して、請負契約については、約2,154万円の増、シルバー派遣事業については、契約件数27件で、契約金額は、1,118万円となっています。

以下、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの具体的な事業・活動につきまして報告いたします。

## 令和5年度の具体的な事業運営・活動の取り組み

当センターは、シルバー人材センターの「自主・自立」「共働・共助」の理念に基づき、60歳以上の高齢者に対し、臨時的かつ短期的または簡易な業務に係る就業の機会を提供し、働くことによる生きがいや活力ある地域社会づくりに貢献してきました。

### 1. 「第3次中期計画」を推進しました。

- ① 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症がまん延する前の状態を目標に、数値目標の達成に向けてセンターの事業・運営を展開してまいりました。

令和5年度数値目標に対する結果			
	数値目標	事業実績	達成率
受託件数	5,820件	4,959件	85.2%
会員数	730人	702人	96.2%
就業率	86.1%	73.9%	85.8%
契約金額	28,500万円	28,597万円	100.3%
就業延人数	63,000人	53,784人	85.4%

- ② 受託件数は、民間契約・公共の契約ともほぼ横ばいの状態であり、民間契約が約9割近くを占める状況で、4,329件（月平均361件）となり、数値目標に対する達成率は85.2%となっています。就業率については、新型コロナウイルス感染症がまん延する前の状態には戻りませんでしたが、2%ほど上昇し73.9%となり、就業延人数は、数値目標を下回り、85.4%となっています。
- ③ 会員数は、令和5年3月末が704人でしたが、高齢者向け技能講習や、市民向けシルバー体験講習の開催および就業会員募集チラシを配布・掲示等したことにより、令和5年8月末の662人を底に、緩やかな増加傾向に転じ、令和6年3月31日現在では702人となり、昨年度末の会員数とほぼ同数を維持することとなり、会員数数値目標の達成率は96.2%となっています。
- ④ 契約金額は、前年度までコロナ禍の影響を受けていましたが、受託件数は、ほぼ同数となり、契約金額は2,154万円増の28,597万円となり、前年度の実績を大きく上回ることができ数値目標の達成率は100.3%となっています。
- ⑤ 公共事業の委託業務単価については、令和4年10月の最低賃金の見直しにより、令和5年4月より、委託契約単価は1,072円となりました。令和6年度の委託単価については、1,113円となる予定です。
- ⑥ 民間事業の配分金については、令和5年10月より、令和5年度東京都最低賃金を基本に1,113円となっています。
- ⑦ 安全就業の推進と就業中・就業途上の事故は、傷害事故6件、賠償事故1件発生し、その他、保険適用外の賠償事故2件が発生し、会員には事故情報を提供して事故防止の啓発に努めました。

## 2. 会員の増強と就業機会の拡大に向けて、積極的な事業運営を推進しました。

- ① 会員入会説明会は事業委員会理事が担当し、5月より新型コロナウイルス感染症の対応が緩和されましたが、引き続き事前参加申込制として感染対策に十分配慮し、福祉センターで14回、市内の施設で6回の合計20回を開催し、新たに年間で93人が入会しました。(年間退会会員数：95人)  
また、市の広報番組「ぶんぶんチャンネル」令和4年1月J:COMチャンネル放送分において当センターを取り上げていただいた事業の紹介および会員募集の動画は、引き続き国分寺市のYouTubeチャンネルで公開され、当センターのホームページや入会説明会でも紹介しております。
- ② 会員一人ひとりが新規会員を紹介する「会員増強運動」は、令和6年1月から3月までセンター全体で取り組み、知人やご夫婦など9名の加入がありました。
- ③ 市内のマンション自治会のご協力を得て、シルバー事業の紹介および入会説明会の案内を配布し、会員の拡大に取り組みました。
- ④ ホームページの迅速な情報更新に努め、アクセス数も更に伸び、WEBによる入会説明会参加申込や、お問合せフォームからの仕事の発注も増加しました。また、地域にセンターの最新情報を提供・開示し、会員拡大及び就業開拓に取り組みました。
- ⑤ 市内の事業所訪問を実施し、幅広く請負事業及び派遣事業の就業開拓に取り組みました。また、国分寺市就労支援地域連絡会にて、商工会他関係機関との情報交換に努めました。
- ⑥ 公共の施設管理および公園管理では、全会員を対象に令和5年10月1日からの就業希望会員を募り、就業基準の適正な運用と公平な就業機会の提供に努めましたが、業種により就業会員の確保が困難な状況が継続しています。
- ⑦ 長期就業している就業場所では、就業会員の理解を得ながら、ローテーション就業を推進し、より多くの会員に就業機会を拡大しました。
- ⑧ 未就業会員を対象に、第2金曜日の入会説明会後に就業相談会の実施及び就業情報を提供することにより、就業機会の提供・拡大に努めました。
- ⑨ 市関連部署との相談・協議を行い、令和5年度4月より小学校トイレ清掃の回数増、また選挙公報配布業務の再開、令和6年度4月より中学校トイレ清掃の回数増等、就業機会の拡大を図りました。

## 3. シルバー事業に関する普及、宣伝活動を推進しました。

- ① ホームページのタイムリーな情報発信による宣伝活動の他、「Smile to Smile」および「ショートメッセージ送信サービス」を活用して、会員への迅速な情報提供（就業情報、配分金情報、緊急連絡等）、共有化に取り組みました。
- ② 会報「いきがい」第148号を8月、第149号を1月の計2回発行し、会員相互の連帯意識を高め合い、さらに、センター事業の内容紹介など情報提供・周知に努めました。

- ③ さらに、会員へ情報発信する「センター便り」も、第 24 号を 4 月、第 25 号を 10 月の計 2 回発行しました。
- ④ 事業所、官公庁等に、センター事業のポスターの掲示およびチラシ等を配布し、受注拡大と会員の加入促進に取り組みました。
- ⑤ 市報等を活用して毎月の入会説明会の案内や、広報強調月間では、10 月 1 日号市報にセンター事業の情報提供の他、市役所の市民課ホールに設置してある電子掲示板において会員募集の掲示を 1 か月行い、また、講習会やセミナー開催時には、市内公共施設 14 箇所にチラシおよびポスターの配架・掲示依頼、新聞社への記事掲載依頼、ホームページのメインメニューで紹介するなど、市民への広報・宣伝活動に取り組みました。
- ⑥ 国分寺まつりおよび福祉センターまつり等市関係機関のイベントに参加し PR 活動および就業相談を実施したことにより、多くの市民の方より入会およびお仕事の依頼の問い合わせをいただき実績に繋がりました。
- ⑦ 会員とのデジタルコミュニケーションツールの確立、就業分野の拡大、教養講座の開設等を目的とし、市民（会員）向け「シニア向けスマートフォン教室」を令和 5 年 10 月 12 日に開催し、8 名の市民の方にご参加いただきました。

#### 4. 会員の就業意識の向上に努め、待遇などの研修を実施しました。

- ① 財団（連合）が開催する役職員及び会員を対象とする研修会・講習会に、就業に関連する会員を参加させました。
- ② 財団が主催する就業支援講習を積極的に活用して、家事援助サービス就業会員の育成に努めました。
- ③ 施設管理業務では、就業会員の待遇など質の高いサービスが求められるため、当センター独自の待遇研修を令和 6 年 1 月 31 日の午前・午後 2 回実施し、業務に必要な待遇マナー等の習得に努めました。
- ④ AED（自動体外式除細動器）講習は、施設管理の就業会員を対象に令和 6 年 2 月 16 日に開催しました。
- ⑤ 職域班会議は、植木班・除草班・施設管理などの仕事別グループの定例会議の他、3 月には除草・学校管理・市報配布・学校トイレ清掃・家事援助で就業する会員を対象とする職域の会議を含め、延 24 回開催することができました。
- ⑥ 会員及び役職員に、「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」を周知し、センター事業を適正・適法に運営していくためのコンプライアンス（法令遵守）を意識していただき、資質の向上に努めました。

#### 5. 事故「ゼロ」を目標に、安全就業対策と健康管理に努めました。

- ① 毎月第 3 水曜日を「安全の日」と定め、安全巡回指導を合計 12 回実施し、就業会員に「安全点検チェックリスト」による聞き取り調査を実施し、安全就業及び事故「ゼロ」の取り組み

みを推進しました。また、就業中の傷害事故に関する「傷害事故情報」を「安全だより」「安全推進だより」で周知し、就業中の全会員に事故「ゼロ」の啓発を行いました。

- ② 安全管理委員会では、令和5年度安全管理活動計画に基づき安全就業及び事故防止に向けた取り組みを推進しました。さらに、「安全だより」を令和5年7月15日に、「安全推進だより」を11月15日に発行し、安全就業及び事故防止の徹底に努めました。
- ③ 「安全はすべてに優先する」を基本に、入会説明会や新しく就業する会員に対して「安全就業基準」及び「安全心得10ヶ条」の周知及び徹底を図りました。
- ④ 令和6年度の「安全標語」について、財団は「自転車事故防止について」、センターは「危険予知について」を標語テーマと設定して11月に募集を行いました。財団の標語には54点、センターの標語には54点の応募があり、標語ごとに3点の優秀作品を選定しました。
- ⑤ 7月の「安全就業強調月間」では、令和5年7月6日と19日に理事による特別安全巡回を実施し、全会員に安全就業について啓発活動を実施しました。
- ⑥ 土日・祝日などのセンター事務所閉鎖時の緊急・事故対応として、緊急時連絡網（コールセンター：04-2929-8282）の周知を図りました。
- ⑦ 今後の「安全大会」の開催に向けた調査・研究を進めました。

## 6. 福祉・家事援助サービス・子育て支援サービスを推進しました。

- ① 財団等が主催する福祉・家事援助サービス及び子育て支援サービスについての講習会への参加および、令和6年2月6日に「地域提案型講習（食事作り）」を実施し、福祉・家事援助就業会員のスキルアップを図る他、普及啓発活動を実施しました。
- ② 国分寺市から受託している「介護予防・日常生活支援総合事業B型事業」は、受託開始から7年目を迎えました。

## 7. 保育補助・スーパー業務・介護補助・調理補助分野等のシルバー派遣事業に取り組みました。

- ① 従来の請負・委託事業になじまない高齢者の多様な就業機会の確保及び拡大に向けて、公益財団法人東京しごと財団国分寺派遣事業所としてシルバー派遣事業を実施しました。
- ② 受注件数は若干減少しましたが、新規に清掃補助業務、駐輪場補助業務、緑化作業サポート業務、確定申告補助業務等のご依頼をいただき、派遣就業会員の増および延日人員の増に繋がり、契約金額は大幅に増加しました。

受注件数	延実人員	延日人員	契約金額	賃金	事務委任手数料
27件	32人	2,099日	11,181,805円	8,539,917円	1,320,379円

- ③ 国分寺市の認可保育所等合同園長会議にて、「シルバー人材センターにおいてお受けできる保育関係業務のご紹介」を行い、保育補助や調理補助その他業務に特化したリーフレットを作成し、業務の開拓・就業場所の拡大に努め、問い合わせおよび新規受注につながりました。
- ④ また、個別に市内認可保育園に、当センターのリーフレットや派遣業務リーフレット等の資料をご案内し、問い合わせ増につながりました。
- ⑤ 財団等の主催する派遣事業に関する研修等に参加し、先進センター等の状況や労働関係法令、派遣業務システムの活用等の情報収集に努めました。
- ⑥ 保育補助分野での就業を促進するために、財団就業推進担当係と共催し、体験講習～地域で元気に働きたい！を応援します～「保育のおしごとセミナー」を、令和6年2月20日のシルバーフェスティバル午後の部にて開催し、14名の市民・会員の方にご参加いただき、2名の女性会員の加入および就業の促進につながりました。
- ⑦ ホームページの派遣事業の紹介ページや、セミナーや講習会開催のPRページの更新に努めた結果お問い合わせが増え、新規契約や、派遣就業会員の増につながりました。

#### 8. お客様および会員を対象とした実態調査アンケートを実施しました。

- ① 6月に、公平な就業機会の提供を行うため「会員状況調査」を実施しました。対象会員は678人で、回答数526人、回答率は77.6%、センターで就業中の会員は371人、センターで働きたい会員は60人（就業中で更に働きたい方含む）という結果でした。また、このアンケート結果に基づいて、未就業会員に就業情報を電話等で提供し就業につながりました。
- ② 令和5年10月に当センターを利用いただいているお客様を対象に「ご利用者アンケート」を実施し、会員の就業状況や事務所の職員の対応について把握しました。対象者は100人で、回答数は63人、回答率は63%。ご利用者の96.8%から、「今後もシルバー人材センターを利用してみようと思う。」と、ご回答いただきました。このアンケート結果については、ホームページに掲載し、会員への周知を行いました。

#### 9. ボランティア活動を実施しました。

- ① 市報配布会員による「空き家情報」をボランティアで実施し、今年度は43件の空き家情報を市に提供しました。
- ② 地域での高齢者の見守りや児童下校時安全パトロール（令和5年6月末まで）など福祉活動を支援しました。
- ③ 新たなボランティアの取り組みとして、国分寺市社会福祉協議会と地域支え合い活動ボランティア（黄色い腕章活動）の協定を締結し、会員に向けて周知を行いました。

#### 10. センター事業の適正な事業運営・経営に努めました。

- ① 理事及び職員は、センター事業の適正な運営・経営に努め、会員の生きがいの充実を図りました。さらに、センター事業の重要な案件を審議・決定する理事会を活性化させ、総務・事業・安全管理の各委員会活動の強化を図りました。

- ㊦ 令和 5 年（第 13 回）定時総会を令和 5 年 6 月 15 日に、市立いずみホールにおいて開催し、令和 4 年度監査報告、令和 4 年度事業報告を行い「令和 4 年度計算書類等の承認の件」、「定款改正の件」、「理事 13 名の専任の件」、「監事 1 名の選任の件」の提出議案すべてが、可決承認されました。
- ㊧ 総務委員会は 11 回開催し、会報の発行等の企画などを協議し、センターから会員への情報提供を行いました。
- ㊨ 事業委員会は入会説明会を担当し 20 回開催、委員会は 11 回開催し、事業拡大及び事業 PR 活動に取り組みました。
- ㊩ 安全管理委員会は、安全管理委員と安全支援員が順番で「安全の日」巡回指導を計 12 回実施し、安全就業・適正就業を推進しました。
- ② 定款第 24 条（理事の職務及び権限）に規定されている会長、副会長及び常務理事の自己の職務の執行の状況を、令和 5 年度第 7 回理事会（開催日：令和 5 年 10 月 27 日）と第 12 回理事会（開催日：令和 6 年 3 月 22 日）で報告しました。
- ③ 令和 5 年度も、前年度に引き続き役員等の費用弁償の支払いを、口座振込で行うとともに、両替手数料等の各種手数料について適切なものを選択し、経費削減に取り組みました。
- ④ 「Smile to Smile」の活用を推進し、令和 5 年度より毎月の配分金明細書の発行・配布を原則廃止いたしました。

#### 11. 会員とセンター及び会員相互の連携を強め、センターの魅力向上に努めました。

- ① 地域班の役割の見直しを図るため、令和 5 年 10 月 24 日にプレ班長会議を開催し、18 名の班長が出席しました。プレ班長会の結果を受け、令和 6 年 3 月 12 日には地域班長会議を開催し、21 名の班長が出席した上、地域班を廃止することが決定しました。今後は、職班や同好会、ボランティア等との連携を図りながら会員相互のつながりを維持していくこととしました。
- ② 会員相互の交流を図るため、「歩いてゼミナール」を、令和 6 年 3 月 27 日に実施しました。会員 25 名が参加し、新選組ゆかりの地を訪ね、桜をめでながらの町歩きを通して、会員相互の交流が図られました。

その他、会員の健康意識とシルバーへの帰属意識の向上を目的として、令和 6 年 2 月 20 日に、「健康イス体操」をシルバーフェスティバル PR 事業として実施し、6 名の市民、17 名の会員が参加しました。